

一貫教育校の広場

積み重ねし日々 in 中等部

● 中等部 教諭 佐藤恵子 さとうけいこ

「さとうけいさん、おはようございます」中等部の朝は早い。ラッシュの時間を避け、放課後をたっぷり使えるようになっていく。生徒と教員の垣根をなくすため、「先生」と呼ぶのは福澤先生だけ。教員は「さん」付けで呼ぶ。最初は戸惑う1年生もすぐに馴染んでいく。制服ではなく、基準服。そこから端正な服装を自分で考えるよう言われ、それぞれが工夫して通学する。8時10分、チャイムが鳴る。「起立、礼」とは言わないが、挨拶で授業が始まる。生徒と教員は、同じ目線で学ぶもの。教室には教壇がない。教員室の扉には「ノックせずに中へどうぞ」の貼り紙。預け物をしに、質問に、相談に、課題の提出に、叱られるに、休み時間になると教員室はたくさん

い。後輩のために、貴重な時間を使って面倒を見に来てくれる。ありがたい存在だ。母校愛と言えば、同窓会活動も活発だ。世代を超え、各学年の代表が月に一度集まり、名簿や会報の発行、「同窓会の日」の開催、中等部生への奨学金の援助まで行っている。卒業後25年目の展覧会の日にはその代の卒業生が一堂に会し、旧交を深め合う。毎年かなりの出席率。若き日の友は一生の宝物だ。授業、校友会活動、そして学校行事。この学び舎の三本柱。特に秋は行事が目白押し。日吉の競技場で行う「運動会」。今年度、私が担任するD組が2年生で優勝した。早速アイスクリームで祝勝会。次に来るのが、年に3度あるスポーツの「校内大会」。揃いのクラスカラーのデザインTシャツを着て士気をあげるクラスもある。続くは学芸部の発表の場の「展覧会」。3年生は夏の作詞・作曲課題からクラスの曲を選び歌う「音楽会」。議長団のリードのもと、自分たちが問題を見つけて討議する「生徒会総会」。気が付けば年末だ。

の生徒たちで賑やかだ。中等部生が大好きなのは、中庭のバレーボール。20分休みに昼休み、唐かえでの木の下で、赤、青、黄色、学年別のボールが華やかに飛び交う。2時20分、たっぷり中身の詰まった授業を終えて放課後だ。それぞれの校友会活動の始まり。39もの運動部と学芸部から思い思いの活動に参加する。週3日程度の活動ながら、費やすエネルギーはなかなか大きい。教員はもちろん、卒業生コーチたちの力も欠かせな



玄関先にある一対のユニコン像。一つは三田

の山から、もう一つはかく言う私が在学中、創立30年記念に、中等部の前身である商工学校の同窓会より寄贈されたもの。彼らが見守る中、生徒も時代も違えど、「若きは豊かなれ」と願う多くの人々とともに紡いできた日々。「同一の中の多様」の言葉通り、中等部ならではの文化や習慣を創りあげてきた。2022年には、創立75年を迎える。

の山から、もう一つはかく言う私が在学中、創立30年記念に、中等部の前身である商工学校の同窓会より寄贈されたもの。彼らが見守る中、生徒も時代も違えど、「若きは豊かなれ」と願う多くの人々とともに紡いできた日々。「同一の中の多様」の言葉通り、中等部ならではの文化や習慣を創りあげてきた。2022年には、創立75年を迎える。

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)